



西牧野小だより

5月
2号

枚方市立西牧野小学校通信

TEL 050-7102-9116

FAX 072-851-0035

令和8年5月1日

校長 青木 智充

校庭の新緑がひとときわ鮮やかになり、5月がスタートしました。

すべての子どもが安心して学べる学級づくりを目指して

本校では4月16日、桃山学院大学の松久眞実教授をお招きし、「特別支援教育の視点を活かした学級経営」をテーマに教員研修を実施いたしました

今回の研修で学んだ、すべてのお子様安心して学校生活を送り、意欲的に学習に取り組むための環境づくりの指針を共有させていただきます。



1. 「どの子どもにも分かりやすい」学級の土台づくり

通常学級における指導では、まず「クラスの全員に合う支援」を全体に行き渡らせることが、学級経営の根幹であると学びました。

「居場所のある教室」や「ルールと秩序のある集団」というしっかりとした基盤を整えた上で、一人ひとりの特性に応じた個別の支援を上乗せしていくアプローチを、学校全体で大切にしていきます。

2. 「静寂」が育む、落ち着いた学びの環境

落ち着いて学習に集中するためには、教室内の刺激を適切にコントロールすることが不可欠です。

○刺激の抑制: 教室内の不要な音を減らし、視覚的な情報も整理することで、お子様が情報を受け取りやすい環境を作ります。

○言葉を削る指導: 教師が感情的に指示を出すのではなく、簡潔で短い言葉（指示）を心がけます。また、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語情報を活用し、より伝わりやすいコミュニケーションを追求します。

○静寂の時間を創る: 授業の開始時にあえて「5秒待つ」ことで意識を切り替えさせたり、集中して作業に取り組む「静かな時間」を戦略的に取り入れたりすることで、心のクールダウンを促します。

3. 目指すべき「あったかクラス」

単に騒がしい「がやがや」とした状態ではなく、心地よい活気のある授業を目指します。教師が落ち着きを持って子どもたちを巻き込み、視覚・聴覚の刺激をコントロールすることで、どの子どもが「ここにいていいんだ」と安心できる「あったかクラス」を、教職員一丸となって創り上げてまいります。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

危険箇所の確認をお願いします

西牧野小学校の校区には、川や水路、交通量の多い道路や狭い道もあります。学校でももちろん指導していきますが、ご家庭でも「危険なところへ行ってはいけません」ではなく、どのように危険なのか、どうしたらいいのかをお子さんがきちんと認知できるよう、具体的にご指導をお願いします。

6月13日（土）には、児童引き渡し訓練を予定しています。その際にもぜひお子さんと一緒に危険な場所の確認をしていただきますようよろしくお願いいたします。

